



日頃より、愛媛大学の教育研究活動に対して、ご理解、ご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大によって、社会全体が厳しい状況に置かれているにも関わらず、従前に増してご支援、ご協力をいただいておりますこと、改めて感謝申し上げます。

愛媛大学は、明治9年(1876年)に設置された愛媛県師範学校をはじめ各種の高等教育機関が統合され、昭和24年(1949年)に新制国立大学として発足しました。それ以来、地域の学術研究の拠点として、知的・文化的水準の向上に貢献するとともに、さまざまな分野で活躍する10万人を超える有為な人材を世に送り出してきました。

現在、「学生中心の大学」、「地域とともに輝く大学」、「世界とつながる大学」の実現を目標に、「輝く個性で地域を動かし世界とつながる大学」を創造することをビジョンに定め、教育・研究・社会連携・国際連携の各分野において様々な取り組みを行っております。東日本大震災や頻発する自然災害、そして、新型コロナウイルスによる感染拡大など、国難とも言える災害が連続していますが、その中でも、愛媛大学は、組織のDiversity化(多様性)を進め、Sustainableな(持続可能な)社会、Resilientな(復元力のある)地域社会の構築に貢献したいと考えております。

平成16年の国立大学法人化以降、大学を取りまく環境は大きく変容し、愛媛大学においても運営費交付金の削減から、教育・研究を支える財源が極めて逼迫しており、外部資金等、新たな財源確保は喫緊の課題となっております。

その一環として、平成28年4月に「愛媛大学基金」を創設し、これまでに多くの企業の皆様や篤志家の皆様から多大なご支援を賜りました。皆様からのご芳志は、経済困窮学生への給付型奨学金によ

る支援、海外派遣支援、学生(留学生含む)への教育活動支援、教育研究環境の整備等に、有効に活用させていただいております。

特に、令和2年度にはコロナ禍における愛媛大学独自の学生支援策として、『えみか夢基金』を活用した『愛媛大学緊急支援給付金』を、生活支援が必要となった学生へ給付させていただきました。

加えて、『コロナ対応緊急支援奨学基金』を創設し、コロナ禍の影響から修学の継続が困難となっている学生への奨学金事業を整備いたしました。本基金につきましても、多くの皆様から、たくさんの温かいご支援を賜り、令和3年1月末までに、目標金額5千万円を達成することができました。皆様からの多大なご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

今後とも、地域に立脚する大学として、社会に貢献できる優れた人材の育成に取組む愛媛大学にご理解、ご協力いただきますとともに、引き続き愛媛大学基金へご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月

愛媛大学 学長
仁科 弘重



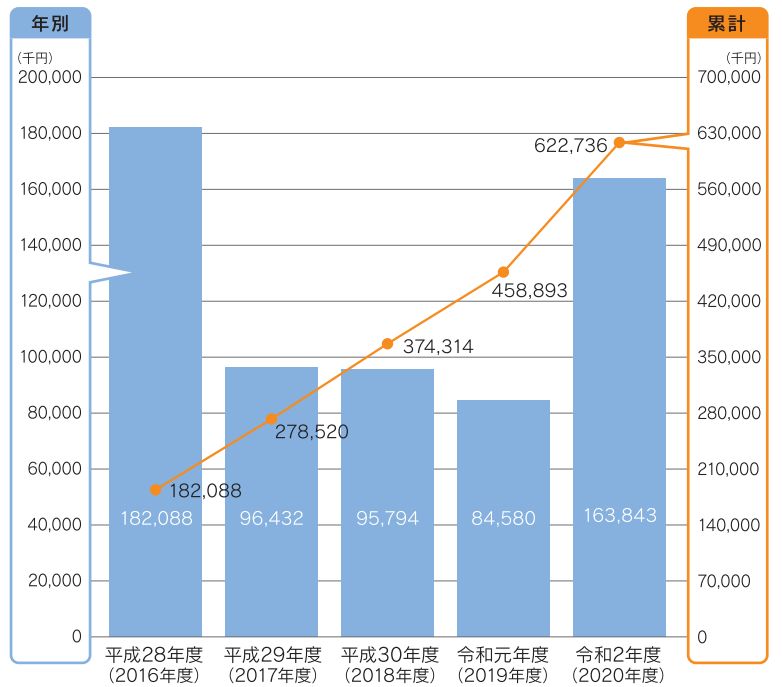
データでみる「愛媛大学基金」の現状(2016年度～2020年度)

愛媛大学では、企業や篤志家の皆様からいただいたご寄附を、学生の修学支援、海外派遣支援及び教育研究環境の整備など、地域に根差した大学としてより優秀な学生を地域社会に輩出するための人材育成事業に有効に活用させていただいております。

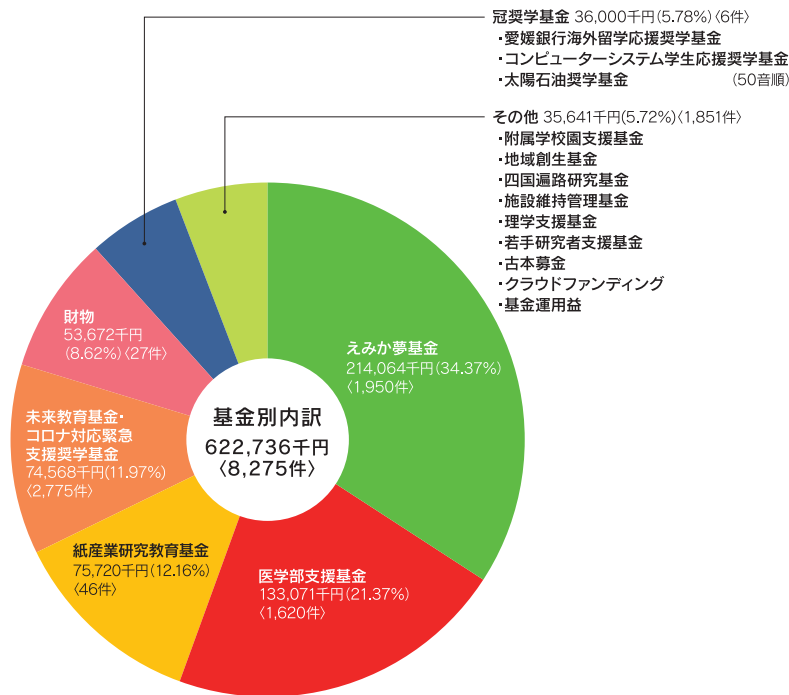
2016年4月に「愛媛大学基金」を創設し、2021年3月末をもって、5年間の経過いたしました。この間、愛媛大学が基金活動のために訪問させていただきました企業様の数は700社を超え、非常に多くの皆様からご支援をいただきました。また、寄附者様のニーズにお応えできるよう古本募金、財物寄附、遺贈、クラウドファンディングなどを導入し、受入方法の多様化にも努めて参りました。その結果、基金として着実に成長を続け、この5年間の寄附累計額・件数は、622,736千円(8,275件)に到達することができました。

なお、昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で修学の継続が困難に陥った学生に対し、多くの皆様にご支援くださいましたおかげで令和元年度に比べ受入額が大幅に増加しております。

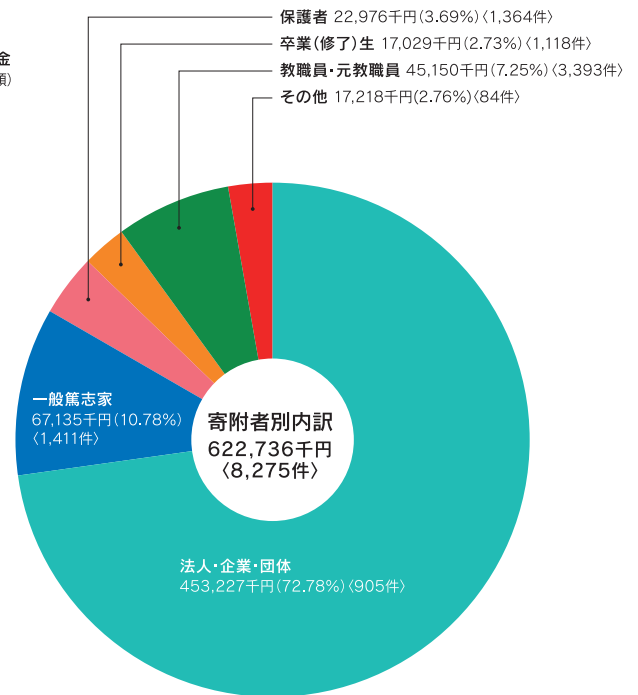
■ 愛媛大学基金(受入)の推移



■ 愛媛大学基金『基金別受入状況』(累計)



■ 愛媛大学基金『寄附者別受入状況』(累計)



新しく税額控除の対象となった基金

若手研究者支援基金

令和2年税制改正により、若手研究者の研究活動を応援するための個人からの寄附が「税額控除」の対象となりました。

「若手研究者支援基金」は、次世代を担う若手研究者(大学院生や博士研究員等)の活動を以下の事業により経済的に支援することを目的としています。

- ① 研究支援事業、② 研究活動の成果発表支援事業、③ 他の研究者等との交流促進事業

学生支援を目的とした基金の取組

愛媛大学緊急支援給付金

昨年度、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う社会情勢の変化により、家計支持者の失業・減収、学生のアルバイト機会減による収入減など、経済的に困窮し、修学の継続が困難になっている学生が増加しました。

このような状況下、本学では、愛媛大学基金(えみか夢基金)を財源とする愛媛大学独自の支援策として、一人当たり3万円の「愛媛大学緊急支援給付金」を支給しました。

コロナ禍の難局においても、引き続き学生の支援を行ってまいります。

2020年度実績 723名(21,690千円)

学生からの感謝の声

この度は緊急支援給付金を給付していただき、ありがとうございました。

本来であれば入学後、アルバイトをすることによって、生活費の一部を賄う予定でしたが、新型コロナウイルスの流行を受けて、アルバイトが出来ない状況でした。そのような折に、今回の給付金をいただき、寄宿料などの支払いに充てることで、学生生活を維持することが出来ました。今後も学生として学業に邁進して参ります。

寄附者の方々には、重ねてお礼申し上げます。

大学院人文社会科学部 学生

寄附者様からのメッセージ

一日も早いコロナ終息を。学生ガンバレ！

地域定着促進特別奨学金

本学の第3期中期目標の一つである、卒業生の愛媛県内就職率50%以上を達成するための一助として創設した、返還不要の給付型奨学金です。愛媛県内の企業等に就職する強い意欲のある学生へ経済的支援を行っています。

この奨学金の拡充により、就職活動期に入る3年次生(医学部医学科は臨床研修を受ける予定の5年次生)に対して、学業及び就職活動等に専念できる環境を提供するとともに、キャリア形成に関する科目の受講及びインターンシップの参加等を促し、愛媛県内の企業等への就業意識を形成することにより、県内就職者を増加させる効果が期待できます。

2020年度実績 20名(4,000千円)

学生からの感謝の声

この度は、地域定着促進特別奨学金を給付していただき、ありがとうございました。

私は、松山で公務員として働くことで地元へ貢献したいと考えていたため、応募しました。この奨学金を活用し、公務員講座を受講しました。また、試験勉強が本格化する時期に、アルバイトを減らすことができ、集中して勉強に取り組める環境を整えることが出来ました。

今後は、社会人として地元である松山、そして愛媛県の地域活性化に貢献出来るような人材になりたいと考えています。これからも公務員試験に向けて勉強に励みます。本当にありがとうございました。



社会共創学部
真鍋 里奈

寄附者様からのメッセージ

地域を支える人材育成を応援します。

留学生支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で本国への入国制限が実施されたことにより、外国人留学生が入国するためには、入国後14日間の宿泊施設等での待機や民間医療保険への加入等が義務付けられました。私費外国人留学生については、この費用を自己負担する必要があり、留学する際の大きな負担となるため、「えみか夢基金」を財源として費用を支援しました。

本学の第3期中期目標において、グローバルな視野を有する人材育成の取組により、留学生数を増加させることとしており、留学生を通じてグローバルな人材育成に繋がることを期待しています。

2020年度実績 9名(645千円)

学生からの感謝の声

2019年に愛媛大学で修士号を取得したとき、一度インドネシアに帰国しても、また日本に戻って勉強を続けたいと強く思いました。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により計画は延期せざるを得ませんでしたが、愛媛大学基金と指導教員の先生のおかげで、日本で博士課程に進むことができました。これは私の研究継続、ひいては人生にとって、とても大きな意味があることです。ご支援いただき、ありがとうございます。皆様のご協力をいただいて日本がさらに好きになり、修後も日本で働きたいと考えています。



大学院連合農学研究科
ANDI DARIUS PATU ISA

寄附者様からのメッセージ

愛媛大学の更なる国際化を楽しみにしています。

その他の基金活動

クラウドファンディング

愛媛大学では、新たなプロジェクト事業に対して、インターネットを介して全国の多様な皆様からのご支援をお願いするクラウドファンディングを実施することにより、新たな財源確保に取り組んでいます。

愛媛大学ダンス部は、クラウドファンディング【コロナ禍での挑戦、地域にダンスを届けたい! (READY FOR)】に挑戦しました。【生ライブ】と【オンライン】を併用するニューノーマル公演を実現するには資金が不足し困り果てていた時、愛媛大学・愛媛大学基金室から声をかけていただき、挑戦した結果、計217名、総額1,466,000円のご支援を賜りました。この大切な資金は公演会場費／オンライン配信機材費等に充て、本公演(2021年3月4日)にて皆様にダンスを届けることができました。コロナの影響で幾度も壁にぶつかりましたが、皆様のご寄附と添えられた多くのメッセージが、常に私たちを励まし、助けてくださいました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

この経験を次に続く人たちのために使いたいと思います。そして1日も早く元気な愛媛、元気な日本になることを祈念し、微力ですが社会や地域に貢献していきます。

愛媛大学ダンス部



ニューノーマル公演実施に向けて、現状に屈することなく、柔軟に対応され、新しい方法を模索し、実現される姿に勇気をいただきました。

遺贈

所有しておられる資産の一部を将来、遺言を利用し本学に寄附したいとお考えの皆様に対し、制度設計させていただいております。令和2年度は、2回目となる「相続・遺贈セミナー」を開催し、コロナ禍において、会場での開催に加え、WEBでも同時配信しました。

古本募金事業

皆様から読み終えた書籍をご提供いただき、学生への「人材育成事業／奨学金等」に活用させていただきます。

愛媛大学基金

01 一般基金 | 使途を愛媛大学に一任する |

■ えみか夢基金

愛媛大学が実施する様々な取組に幅広く活用

コロナ禍等の緊急時の学生支援事業にも有効に活用させていただきます。



地域定着特別奨学金

愛媛県内の企業等に就職する強い意欲のある学生を応援する奨学金
(~令和2年度末実績)
60名(12,000千円)



海外留学支援

海外留学時の渡航費の一部を支援
(~令和2年度末実績)
319名(16,928千円)



様々な活用事例

- キャンパスのバリアフリー対策
- 講義室の環境整備
- グラウンドの整備
- 緊急支援給付金の支給(コロナ) など

02 特定基金 | 使途を特定する |

① 学生(留学生含む)を応援

■ 未来教育基金 【税額控除対象】

経済的な理由で修学を諦めないために

経済的理由により修学に困難がある学生への支援に活用

- ・授業料減免事業
- ・奨学金事業
- ・留学支援事業
- ・TA、RA事業



② 研究者を応援

■ 若手研究者支援基金 【税額控除対象】

次世代を担う研究者を育成

次世代のイノベーションを担う学生や若手研究者の育成に活用

- ・研究支援事業
- ・研究活動の成果発表支援事業
- ・他の研究者等との交流促進事業



③ 特定の学部や事業を応援

医学部支援基金

医学部を応援

理学支援基金

理学部を応援

ユーカリ基金

農学部を応援

基礎医学研究推進基金

医学部の基礎医学研究活動を応援

附属学校園支援基金

附属学校園の子どもたちのために

紙産業研究教育基金

紙産業の発展のために

地域創生基金

地域産業イノベーションのために

四国遍路研究基金

四国遍路・世界の巡礼研究のために

施設維持管理基金

施設の適切な維持管理のために

愛媛大学基金へのご寄附ありがとうございます!

☆引き続き、ご支援をお願いいたします!

